

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 25日

中施策事業名	公共施設マネジメント推進事業	部課名	行政経営部・公共施設管理課
		作成者	北川 宜志
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市内の公共施設（道路・都市施設を除く）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の公共施設の機能が集約されることで、効率的な施設の維持管理が行われている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	公共施設長寿命化（道路・都市施設を除く）に関すること、公共施設包括管理業務委託に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公共施設適正配置 計画策定の進捗割合	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	100	100	0	0	0
	実績値	100	100				
	単位      %						
個別施設計画策定の 進捗状況	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	100	100	0	0	0
	実績値	100	100				
	単位      %						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				117, 375千円	122, 875千円	
	a 事業費合計			117, 375千円	122, 875千円	128, 662千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	5, 000千円	0千円
③ コスト (①－②)				117, 375千円	117, 875千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 706 円	1, 713 円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>物価や人件費等の想定以上の高騰のため、立ち止まり検討をしてきた公共施設の長寿命化改修は、公共施設長寿命化方針が策定され、状態監視保全を中心とした予防保全を推進することとなった。</p> <p>包括管理業務については、学校、保育園の保守管理業務を一元化したことで事務効率が向上し、契約者による施設巡回業務、優先順位付けした効果的な修繕により、施設の安全性が向上した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>「公共施設長寿命化方針」に基づき、対象施設の劣化状況を調査し状態監視保全の取組に着手する。また、長寿命化調査実施済みの学校においては、改修工事を実施する。</p> <p>包括管理業務については、今年度から児童館が加わることから、事業者・所管課との連携を密に行い円滑な事業の進捗を図る。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>劣化調査をすることで施設の状態を横並びで把握し、修繕すべき部分の優先順位付けをする。「公共施設適正配置計画」等関連する計画の改訂の際には、専門的な視点で協力を行う。</p> <p>包括管理業務は対象施設の拡大など、より効率的な施設管理を検討する。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 25日

中施策事業名	建築物営繕工事事業	部課名	行政経営部・公共施設管理課
		作成者	北川 宜志
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市内の公共施設（道路・都市施設を除く）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者が安全安心に利用できるよう施設を維持する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	公共施設（道路・都市施設を除く）工事に係る各種業務に関すること、実施計画重点事業に関すること、公共施設を管理する各課との連絡調整		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
実施計画重点事業の実施率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	100	100	0	0	0
	実績値	100	100				
	単位	%					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>入札の不調があったものの概ね予定通りの事業は遂行できた。また、各課の工事について必要なサポートと行うとともに、急遽対応が必要となった事業については補正予算等により事業を実施することができた。</p> <p>電力需要を抑制するとともに、環境負荷の軽減に寄与するため、多くの公共施設において照明設備LED化をリース契約とし実施することができた。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	実施計画のヒアリング等を通じて施設所管課と連携を図り、要望や不具合の改善等について専門的な見地で検討し、実施計画への予算要望を行っていく。また、急遽対応が必要な要望や不具合については補正予算等により迅速に対応する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>材料費や人件費の高騰により工事費の更なる上昇が予想されることから、計画的に工事が実施できるよう、他自治体の事例を調査するなど効果的な改修方法等の検討を行い実施計画につなげていく。</p> <p>照明設備LED化未実施である公共施設について、電力需要を抑制するとともに、環境負荷の軽減に寄与するためLED化を進めていく。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等